

船頭川発電所事業性評価調査事業

1. 事業の目的

本事業は富山県一級河川庄川水系船頭川開発地点において、流量調査、地形測量、基本設計を実施し、最適な発電計画を立案することにより、経済性の向上および事業性評価の精度向上を図ることを目的とする。

2. 事業の内容

- (1) 事業者名
合同会社ハイドロリンク富山
- (2) 事業名
船頭川発電所事業性評価調査事業
- (3) 事業期間
令和6年6月21日～令和7年2月10日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
 - ① 発電形式 : 水路式（流込式）
 - ② 最大使用水量 : 0.65m³/s
 - ③ 有効落差 : 36.70m
 - ④ 最大出力 : 180kW

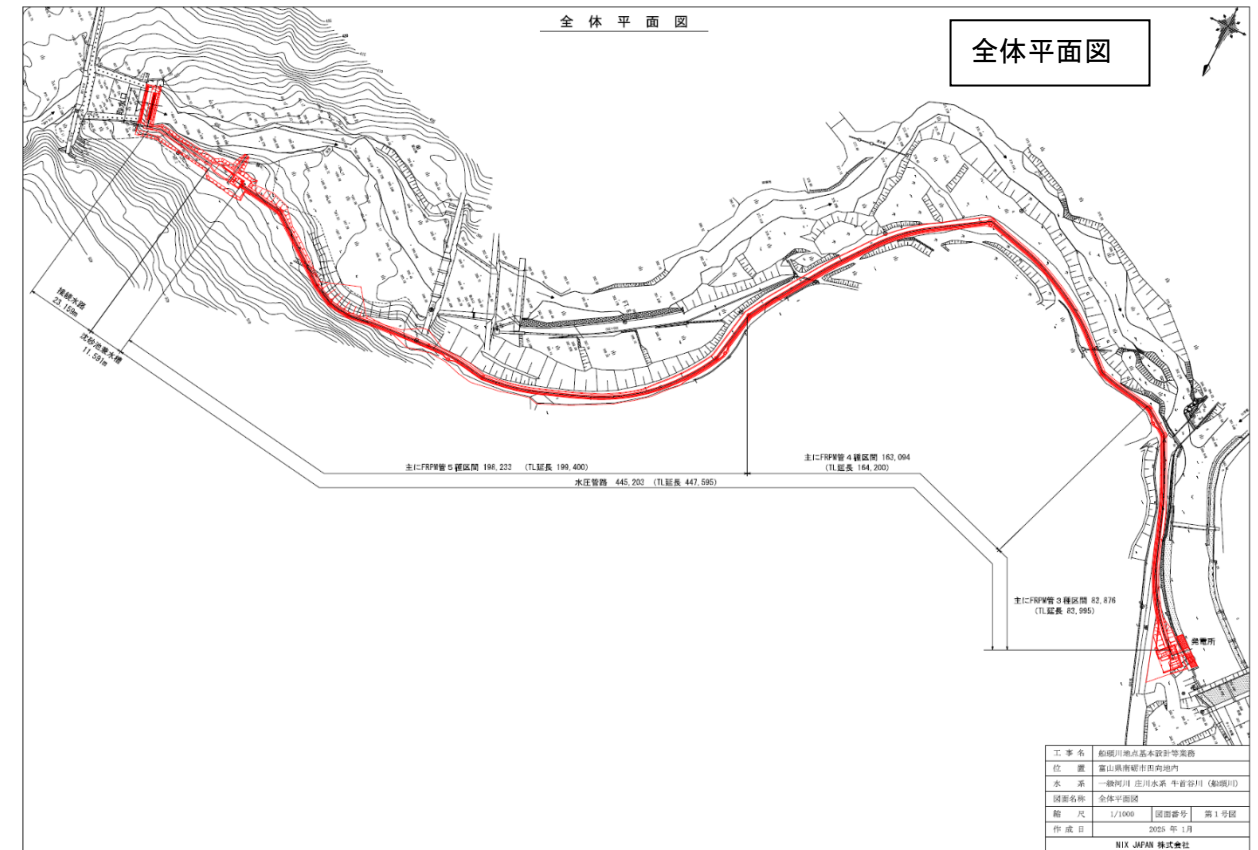
3. 令和6年度の事業実施概要

- (1) 流量調査
布施川地点において水位計設置による水位連続観測、定期的な流量調査により河川流況を把握した。
- (2) 地形測量
事業計画地点の現地測量等を行うことにより、発電設備の基本構造および発電規模決定の基礎資料として整理した。
- (3) 基本設計
最適規模の検討を行い、取水設備、導水路、沈砂池兼水槽、水圧管路、発電所、機械装置基礎、放水路等の発電設備の基本設計・図面作成を行った。また、事業性評価に必要な概算数量および概算工事費を算出した。
- (4) 事業性評価
本事業の調査結果を反映した最適な発電計画（発電量、売電収益、工事費）を立案し、事業の経済性の評価を行った。

4. 事業の成果等

流量調査・地形測量・基本設計の結果及び事業費積算結果を踏まえて事業性評価を行った。算出したキャッシュフロー計算書から、費用対効果が1以上(1.04)となり、本事業は一定の事業性を有していると判断することができた。

今後事業化に向けてコスト削減の具体的検討が必要となる。このため、水車メーカーや土木建設施工業者へのヒアリングを行い、発電規模や経済性の更なる検討を行う。並行して関係者協議、各種申請等を進めていく必要がある。



流量調査



地形測量

5. 事業スケジュール

No	内容	令和6年(2024年)						令和7年(2025年)			
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	流量調査		■	■	■	■	■	■	■	■	■
②	地形測量		■	■	■						
②	基本設計				■	■	■	■	■	■	■
③	事業性評価								■	■	■

■ : 計画
■ : 実績
■ : 自主事業